

<添付資料①『sequence MIYASHITA PARK』の特長>

(1) JR 渋谷駅徒歩約 3 分「MIYASHITA PARK」内に誕生、流行の発信地で注目度の高いエリアに位置

本ホテルは、リニューアルされた『MIYASHITA PARK』の北街区に誕生します。渋谷駅周辺・原宿・青山・表参道エリア、新国立代々木競技場(代々木公園)をつなぐ結節点に位置しており、ショッピング・街歩き・グルメ・ナイトエンタテインメントが充実した、最新のトレンド・カルチャーを享受できる、国内外から注目度の高い人気のエリアです。

(2) 公園・商業施設・宿泊施設が一体となった新しい「ミクストユース型」プロジェクト

① 施設コンセプト：「PARK MIND」

『sequence』ブランドのフラッグシップ的存在の本ホテルは、再開発の進む渋谷駅周辺において、公園・商業施設・ホテルが一体となった新しいミクストユース型プロジェクトとして誕生します。多種多様な人々をやさしく受け入れ、誰もがリラックスして自由に過ごせる開放的な「MIYASHITA PARK」。その公園の心地よい雰囲気そのままホテル内に広がります。訪れたゲストが忙しさから解放され、寛容な気持ちになれる、快適な空間と時間をお過ごしいただけます。

② 外観

本ホテルの外観コンセプトは「SUHAKO(スハコ)」。「SUHAKO」の「SU」とは、「巣」あるいは「素」を表しています。鳥の「巣」を連想させながら、世界中からここに集まるクリエイターたちの素顔の「素」であり、コンクリートという素材の「素」をも意味します。鳥たちが帰ってきてしばし羽を休め、再び飛び立つようなイメージをデザインしています。



『MIYASHITA PARK』および『sequence MIYASHITA PARK』外観



宮下公園側エントランス



JR 原宿駅側エントランス

③ ロビーラウンジ、カフェ&バー「VALLEY PARK STAND」(4 階)

渋谷区立宮下公園からシームレスにつながる、ホテル 4 階のエントランスフロアは、ホテルのロビーラウンジと、株式会社ウェルカムの新業態のカフェ&バー「VALLEY PARK STAND」が連なっています。公園や客室で気軽に楽しめる「ワンハンドフード」や各種ドリンクをご用意し、ホテルのゲストだけでなく、公園利用者、近隣住民やオフィスワーカー、観光客に至るまで、どなたでもご利用いただけます。

随所に配された木製のカウンターやスツールの一部は、かつて宮下公園にあったケヤキをアップサイクルして製作され、エントランスフロア奥の植栽は、ボーダーレス・ジェンダーレスの人が集まる渋谷という街の多様性を、個性の強い植物で表現しています。



ホテルレセプション



カフェ&バー「VALLEY PARK STAND」



「VALLEY PARK STAND」ワンハンドフード提供イメージ



「VALLEY PARK STAND」提供フードイメージ

<カフェ&バー「VALLEY PARK STAND」概要>

※開業後当面の間は営業時間に変更が生じる場合がございます。最新情報は公式 Instagram(@valleyparkstand)をご覧ください。

営 業 時 間	7:30～23:00 (L.O 22:30)
共 用 部 席 数	約 70 席～80 席

クリエイターのご紹介

● インテリアデザイン

SUPPOSE DESIGN OFFICE 代表 谷尻誠、吉田愛

広島と東京の 2 ャ所を拠点とし、住宅、商業空間、会場構成、ランドスケープ、プロダクト、インスタレーションなど、国内外を問わず多数のプロジェクトを手がけています。作品には公共施設や海運倉庫を改修した複合施設「ONOMICHI U2」、代々木上原の「社食堂」などがあります。

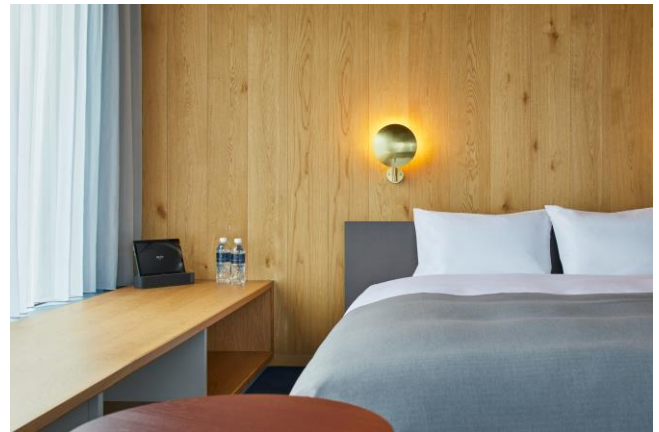
● ホテル内空間植栽

株式会社叢・Qusamura(くさむら) 代表 小田康平

整った美しさよりも「『いい顔』をしているかどうか」を植物選びの基準に、独自の美しさを提案する植物屋。店主みずから日本中を旅して集めた個性あふれる植物を、その個体の特徴を引き出す器とあわせて提案しています。

④ 客室(6 階～17 階)

全客室のデザインは、「感性にあふれた、東京の部屋」をコンセプトに、家具や備品に本物の質を求め、シンプルで豊かな空間に仕上げました。大きな窓から見える渋谷の街を借景として、客室にいても渋谷の街とつながる高揚感を味わいながら、同時に自分だけの安らぎの時間を楽しむことができます。TOKYO のホテルに滞在する楽しさを感じてもらえるよう、窓ガラスに「Hi, TOKYO!」のスピーキングメッセージを刻みました。また、ゲストに心地よい滞在期間を提供するため、手に触れるアメニティはホテルブランドオリジナルで製作し、厳選アイテムを設置しました。



客室(King)



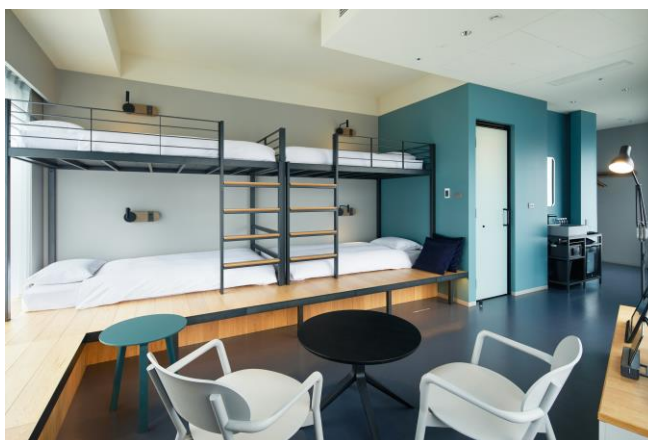
窓ガラスのスピーキングメッセージ「Hi, TOKYO!」



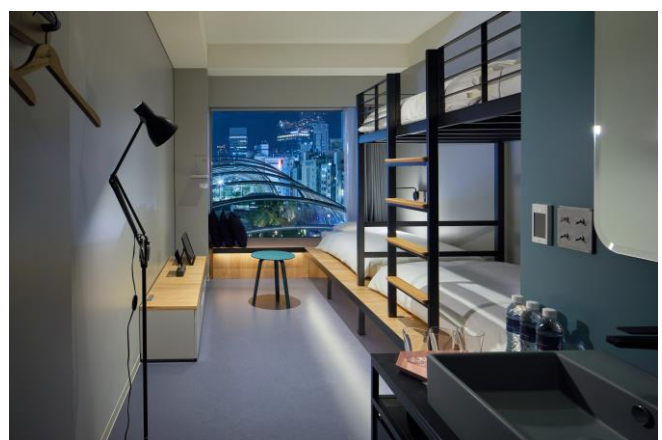
客室(Twin)

グループで泊まれる「BUNK ROOM」(6 階)

6 階には、家族・友人同士など多人数でのご旅行や様々なニーズに対応した、最大 6 名までご利用いただけるバンクベッド(2 段ベッド)タイプの客室をご用意しました。公園ビューが見渡せる窓辺に沿って小上がりを設け、まるで縁側で外を眺めながらくつろぐようにお過ごしいただくことで、新たなコミュニケーションが生まれるユニークな空間が広がります。



客室(Bunk Bed 4)



客室(Bunk Bed 3)

渋谷を見渡す大きな窓が魅力の「STANDARD ROOM」(7階～17階)

7階から17階は、スタンダードな客室のフロア。ゲストが目にする場所を美しく、触れる場所を手触りよく仕上げることに徹底的にこだわりました。

一部の客室は小上がりの上にベッドを配置し、海外からのゲストにも「縁側」の雰囲気を感じていただくことができます。また、ビューバスタイプの客室では、渋谷の夜景を眺めながらバスタイムをお楽しみいただけます。



客室(Queen)



客室(Twin)



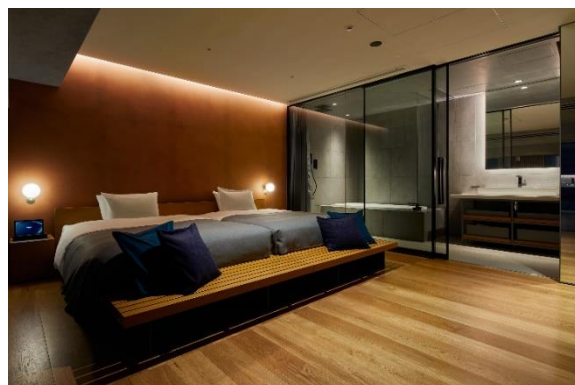
客室(King)

渋谷の街を一望できる極上の「SUITE ROOM」(17階)

新国立競技場と代々木競技場、明治神宮の杜、富士山を一度に見晴らせる、客室最上階に位置する「SUITE ROOM」。選び抜かれたインテリアと調和のとれた落ち着いた配色、約 94.7 m²の広さ、抜群の東京ビューが自慢の客室です。全客室の中で、この SUITE ROOM のみに特別に配置された真空管アンプは、建築事務所 Puddle の加藤匡毅氏がこの部屋のためだけに制作しました。アンプが奏でるあたたかい音色は、ソファ下に配置されたスピーカーから溢れ、部屋全体をやさしく包み込みます。



リビング(Suite)



ベッドルーム(Suite)

クリエイターのご紹介

●客室デザイン

建築事務所 Puddle 代表 加藤匡毅

隈研吾建築都市設計事務所、IDÉE などを経て、2012 年に Puddle 設立。「キッチンで暮らす施工事例(主催 LIXIL)」金賞受賞など、受賞歴多数。京都から世界に広がる「アラビカコーヒー」店舗や、「ダンデライオンチョコレート」、クレイジーウェディング式場「IWAI」などの空間を手がけています。

⑤ レストラン&バー(5階、18階)

グローバルでローカル = グローカルな食文化を発信するレストラン&バー 「Dōngxī(ドンシー) Restaurant & Sakaba」(5階)

5階には、株式会社ウェルカムが運営する朝食ダイニングルームを兼ねたレストラン&バー「Dōngxī Restaurant & Sakaba」が出店。「Dōngxī」とは、シルクロード圏のことばで「東西」を意味します。シルクロードがつなぐ「東と西のあいだ」に位置するアジアの国々からインスパイアを受け、これまでの常識や枠組みにとらわれないユニークなアジア料理やグローバルな食文化を“シルクロードの終着点”と捉えた東京から世界へと発信していきます。

総料理長には DEAN & DELUCA 元総料理長の境哲也氏が就任し、「Dōngxī」および4階のカフェ&バー「VALLEY PARK STAND」のすべての料理を監修します。産地にこだわった食材が並ぶサラダビュッフェをはじめ、五感で嗜む朝食をお楽しみいただけます。

併設するバーのマネージャーには、「バカルディレガシーカクテルコンペティション」ニューヨーク大会代表の経歴を持つバーテンダー宇塚健氏が就任。クローズドなイメージが強いホテルのバーを、パークマインドで楽しめる賑やかな場所へと進化させます。

※開業後当面の間、朝食をセットメニューでご提供します。最新情報はホテル公式HPをご覧ください。



RESTAURANT「Dōngxī」(ビュッフェカウンター)



RESTAURANT「Dōngxī」提供料理イメージ



RESTAURANT「Dōngxī」(テーブル席)



BAR「Sakaba」

<RESTAURANT & BAR「Dōngxi Restaurant & Sakaba」概要>

※開業後当面の間は営業時間に変更が生じる場合がございます。最新情報は公式 HP (<https://dongxi.tokyo/>)をご覧ください。

営 業 時 間	[レストラン] 朝 食 07:00～12:00 ラ ン チ 12:00～15:30(L.O 14:30) ディナー 18:00～23:00(L.O 22:00) [バー] 日～木曜 17:00～24:00(L.O 23:30) 金～土曜・祝前日 17:00～26:00(L.O 25:30)
座 席 数	89 席(朝食・ランチタイム 89 席／ディナー 66 席／BAR 23 席)
朝 食	ビュッフェスタイル ※開業後当面の間、朝食をセットメニューでご提供します。 最新情報はホテル公式 HP をご覧ください。
T E L	03-6712-5730
備 考	全席終日禁煙

クリエイターのご紹介

●インテリアデザイン

TERUHIRO YANAGIHARA STUDIO 代表 柳原照弘

2002 年に自身のスタジオを設立、“デザインする状況をデザインする”という考えのもと、プロダクトから空間デザインまで、国やジャンルを超えて活動。クリエイティブディレクターとして家具ブランド「KARIMOKU NEW STANDARD」、革小物ブランド「TYP/ Morpho」、陶磁器ブランド「1616/ arita japan」などの国際的なブランドの立ち上げに参加しています。

NEO TOKYO の新しいナイトスポット ROOF TOP BAR & RESTAURANT「SOAK(ソーク)」(18 階)

最上階の 18 階には、渋谷の街を広大なパノラマで一望できるルーフトップバー＆レストランが誕生します。「いまから約 100 年前の日本が違うタイムラインを迎えたら、こんな世界が生まれたのではないか？」をコンセプトに、世界と渋谷をつなげる、世界中を魅了するエンターテインメントレストランです。解放感と良質な音楽でイベントスペースとしてもご活用いただけます。“非日常“の特別な夜が体験できる、渋谷の新たなナイトタイムスポットとして、ご宿泊以外のお客様にもご利用いただけます。

ミラーボールが天井で溶け出したような「メタボール」などの遊び心溢れるインテリアは、noiz が担当しました。

※開業時期は未定です。最新情報は公式 HP (<https://soaks.tokyo/>)をご覧ください。



ROOF TOP BAR & RESTAURANT「SOAK」(イメージ CG)

クリエイターのご紹介

●インテリアデザイン

noiz

東京と台北を拠点として、国際的に活動する建築設計事務所。最新のデジタル技術を応用した建築やプロダクトのデザインを中心に、幅広い分野で活躍しています。

⑦ アート(4階エントランスフロア、全客室)

『sequence MIYASHITA PARK』は、既存のホテルのあり方にとらわれず、アートと世界、アートと人を「やさしくつなぐ」特別な場所となるべく、4階エントランスフロアと、全ての客室に The Chain Museum が企画・キュレーション・ディレクションした新進気鋭のアーティストによるアート作品を展示しました。

1室ごとに異なるユニークなアート作品は、The Chain Museum が運営するアート・コミュニティプラットフォーム「ArtSticker(<https://artsticker.app/r/dl/>)」で全ての作品詳細をチェックすることができます。また「ArtSticker」からアーティストを支援し感想を直接伝えることができ、ゲストとアーティストが「直接つながるアート体験」を提供します。

クリエイターのご紹介

●アートプロデュース

The Chain Museum

The Chain Museum は、2018年に設立された、スマイルズ遠山正道と伊藤直樹率いるクリエイター集団PARTY が新たに発信する「アートの次のあり方をつくる」プロジェクト。オフィスや美術館の裏道から、風車の突端や無人島まで、日常の、ふとした場所にアートを潜ませていく、アーティストとともに作りあげる小さくてユニークなミュージアムです。



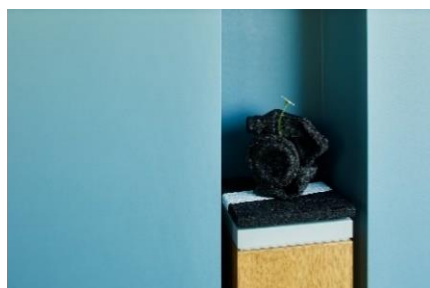
ENTRANCE ART①(入口中央)
作品名:「Lovers」
アーティスト:田村琢郎



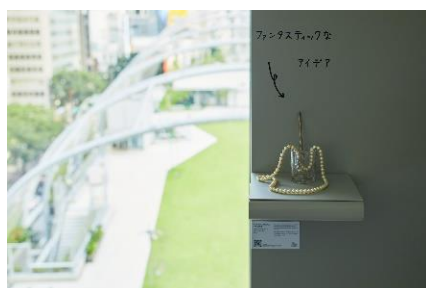
ENTRANCE ART②(入口壁面)
作品名:
「発酵発電所(zymotic electroplants)(2017)」
アーティスト:ハングチリンタロウ



ENTRANCE ART③(CI カウンター正面)
作品名:「Humans」
アーティスト:東慎也



客室設置アート①ペDESTAL
作品名:「Rubbish on the road」
アーティスト:田村琢郎



客室設置アート②ペDESTAL
作品名:「組み合わせの方法」
アーティスト:牛島光太郎



客室設置アート③壁掛けアート
作品名:「1枚物語」
アーティスト:牛島光太郎

■施設概要

名 称	sequence MIYASHITA PARK
所 在 地	東京都渋谷区神宮前 6-20-10 MIYASHITA PARK North
交 通	東京メトロ「渋谷」駅 B1 出口より徒歩 3 分 JR「渋谷」駅ハチ公口より徒歩 7 分 東京メトロ「明治神宮前<原宿>」駅 7 番出口より徒歩 8 分
構 造 規 模	鉄骨造 地上 18 階
客 室 数	240 室
フ ロ ア 構 成	4 階：ロビーラウンジカフェ、ホテルレセプション 5 階：レストラン、スタジオ 6～17 階：客室 18 階：ルーフトップバー&レストラン
T E L	03-5468-6131
公 式 サ イ ト	https://www.sequencehotels.com/miyashita-park/
企画プロデュース・レストラン運営	株式会社ウェルカム
設 計 ・ 施 工	株式会社竹中工務店
フ ロ ア デ ザ イ ン	客 室：Puddle 4 階：SUPPOSE DESIGN OFFICE 5 階：TERUHIRO YANAGIHARA STUDIO 18 階：noiz

■客室構成

部屋名称	面積	ベッドサイズmm	定員	室数
Bunk Bed 2	16.9 ～ 17.1 ㎡	970×1960	2	2
Bunk Bed 3	18.3 ～ 25.2 ㎡	970×1960	3	11
Bunk Bed 4	30.5 ～ 37.3 ㎡	970×1960	4	2
Bunk Bed 6	40.6 ㎡	970×1960	6	1
Double	13.7 ～ 14.8 ㎡	1390×1960	2	24
Medium Double	16.3 ～ 17.1 ㎡	1390×1960	2	36
Queen	18.3 ～ 20.3 ㎡	1500×1960	2	62
King	37.3 ～ 40.6 ㎡	1800×1960	2	22
Junior Suite	45.7 ～ 50.0 ㎡	1800×1960	2	3
Accessible Queen	23.7 ㎡	1500×1960	2	1
Twin	23.7 ～ 25.2 ㎡	1220×1960	2	64
Large Twin	30.2 ～ 30.8 ㎡	1220×1960	2	11
Suite	94.7 ㎡	1390×1960	2	1

総客室数：240 室

最大宿泊可能人数：499 人

チェックイン 17:00～／チェックアウト ～14:00

■地図

